

2022年10月11日

インドネシア・タイで生産する建築用ガラスの環境製品宣言（EPD）を取得 —当社アジア拠点の建築用ガラスとして初—

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、グループ会社であるPT Asahimas Flat Glass Tbk^{*1}（本社：インドネシア）およびAGC Flat Glass (Thailand) Plc.（本社：タイ）の2社で製造する建築用フロートガラスについて、環境製品宣言（EPD：Environmental Product Declaration）を取得しました。AGCグループのアジア地域^{*2}で製造・販売する建築用ガラス製品のEPD取得は、今回が初となります。

当社の取得したEPDは、原材料の調達から生産にわたる、製品に関わる環境情報を定量的に開示するものであり、お客様は使用する製品の環境負荷を定量的・客観的に評価することが可能になります。本EPDは、国際標準化機構（ISO14025）で規定する「タイプⅢ環境宣言」であり、第三者である一般社団法人サステナブル経営推進機構（SuMPO）によって検証・認証されたデータです。EPD認証を受けた材料の使用は、各国政府の建築規制の要件を満たすだけでなく、LEED（米国グリーンビルディング協会によるLeadership in Energy & Environment Design 認証）等グリーンビルディング認証の取得にも貢献します。

当社グループは、今回の環境ラベル認証取得を活用し、アジアにおける建設産業のグリーン購入・調達に貢献していきます。引き続き、コーティングガラス、複層ガラス、装飾ガラスなどの高機能ガラス製品においても、本認証の取得を進めていく予定です。

AGCグループは、中期経営計画 **AGC plus-2023** における重点課題の1つに「サステナビリティ経営の推進」を定め、2050年に自社の事業活動に伴うカーボンネットゼロを目標に掲げています。これからもGHG排出量の削減と、省エネ・創エネに貢献する製品・技術の供給を通じて、持続可能な地球環境の実現に貢献していきます。

<注釈>

^{*1} PT Asahimas Flat Glass Tbkは、AGCグループの一員です。Asahimas Flat Glass社は、1973年に旭硝子株式会社（現AGC）とPT Rodamas社（インドネシアにおける建築用ガラス等の販売会社）との合併会社として設立されました。

^{*2} AGCグループのアジア地域での建築用ガラスのマーケティングおよび販売は、AGC株式会社 建築ガラス アジアカンパニーのアジア地域本社として、AGC Asia Pacific社（設立2013年、本社：シンガポール）が行っています。本件を含めた、同社のサステナビリティ取り組みについては、<https://agc-glassasia.com>をご参照ください。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部 小川 知香子
（担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 [お問い合わせフォーム](#)）

個人情報 は当社プライバシーポリシーに従ってお取り扱いをさせていただきます。